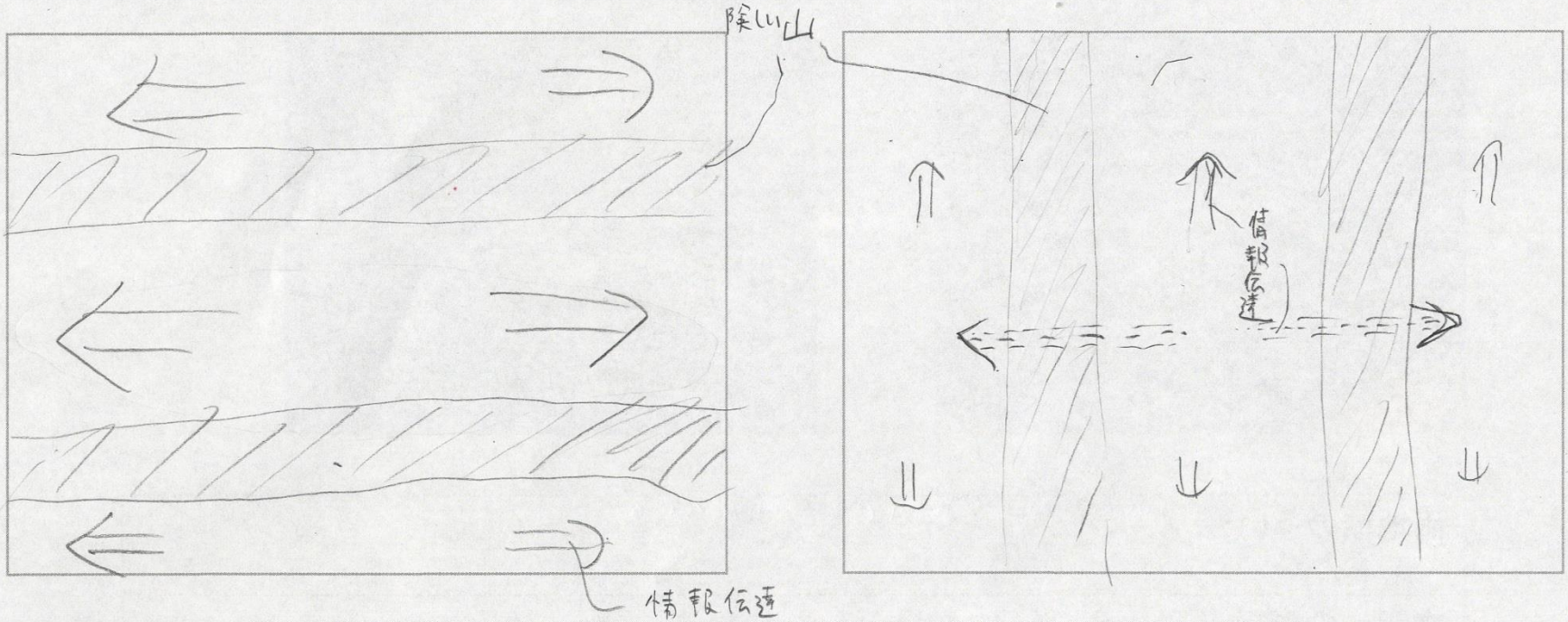
Task 2　地図を描こう！

ふたつの異なる自然環境を地図で表現し、それぞれの地域に発達した文明の違いを、なぜその違いが生じたかの理由とともに説明してください。

優秀作品　8名

シンプルにして深い洞察

TITLE: 山の向き

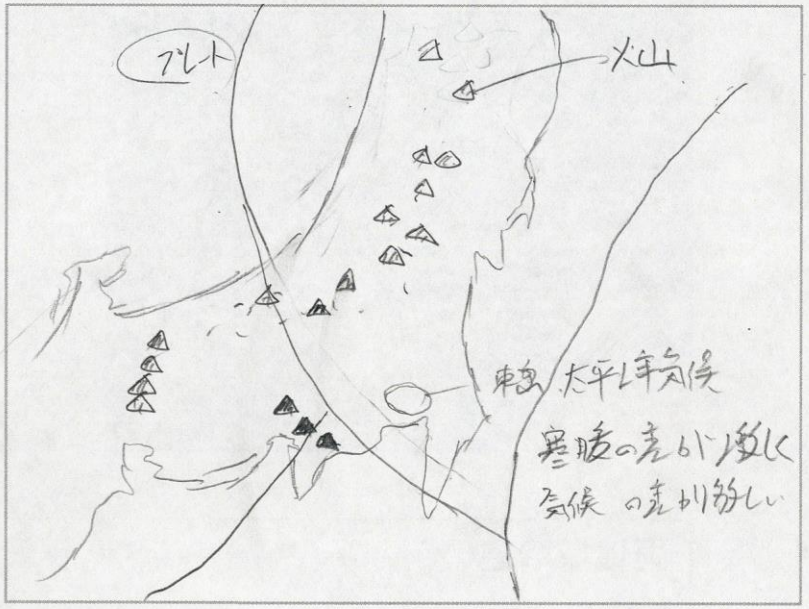


説明しよう！

東西に山脈がのびてる場合と南北に山脈がのびてる場合
前者は東西には急速に情報が伝達するが、ただでさえ情報が伝わりにくい
南北には山のせいで情報がほぼ伝わらず文明の違いが層状に表れる。
後者は山があるが東西には情報が伝わりやすいのでどこも統一された文明ができる。

地震と火山の無い地を探した古代人

TITLE: 古代における
東京と京都の文明の差

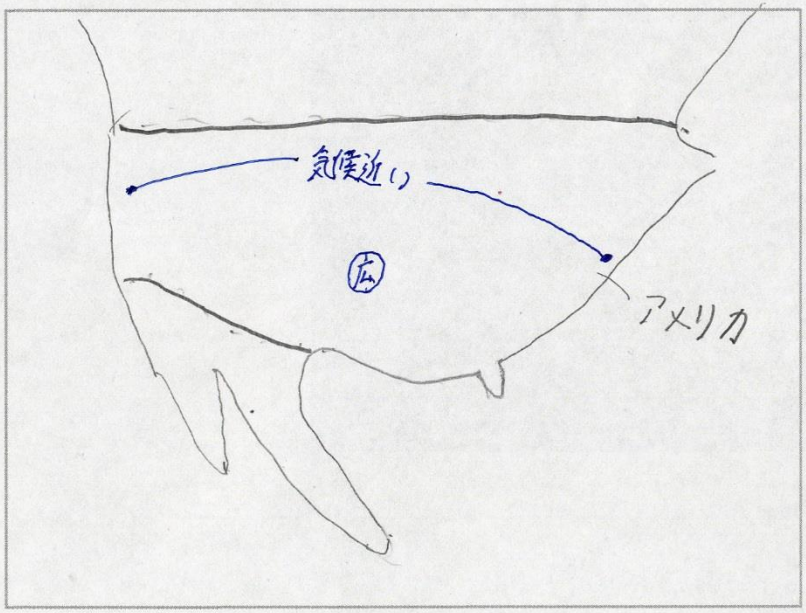


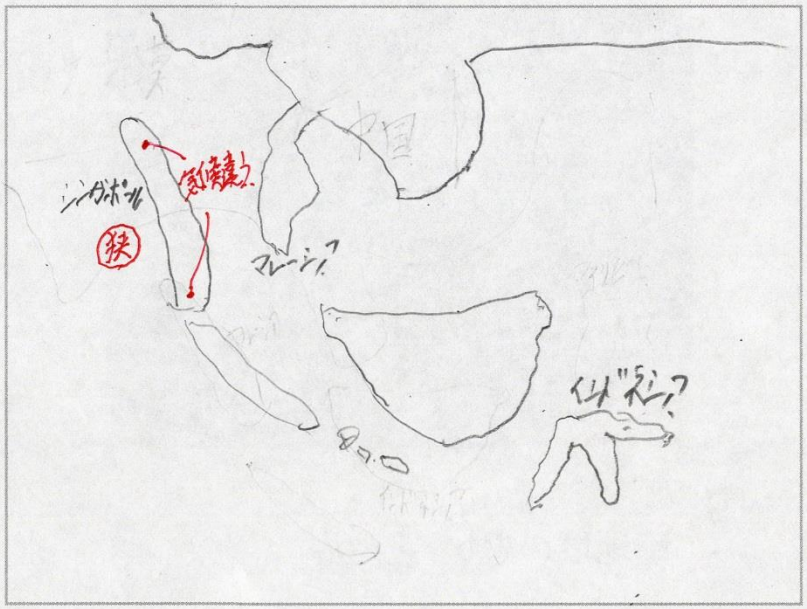
説明しよう！

地震発生の場所，火山の影響，気候の影響
などが京都では少なく，東京では多いため，
昔では京都で安定に発展した。（首都であった。）

同条件だと競争激化

TITLE: 個人主義(アメリカ)と集団主義(東南アジア)





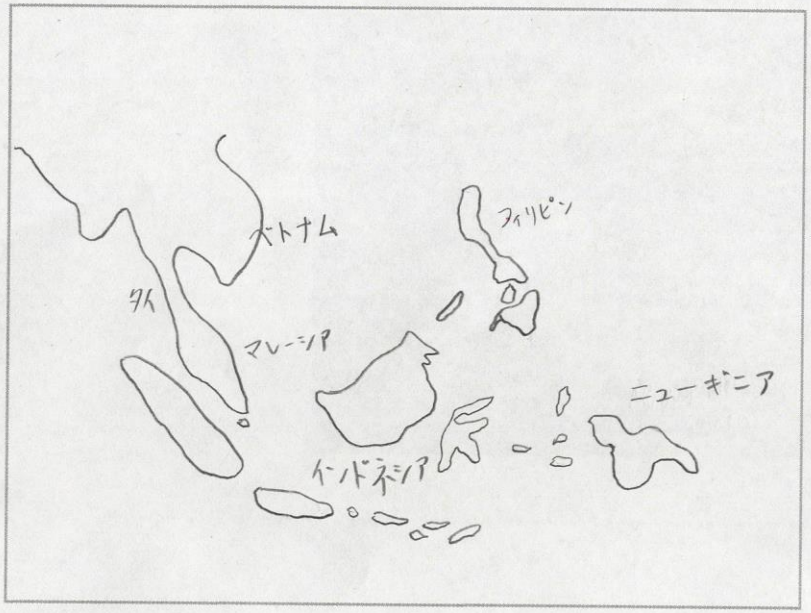
説明しよう！

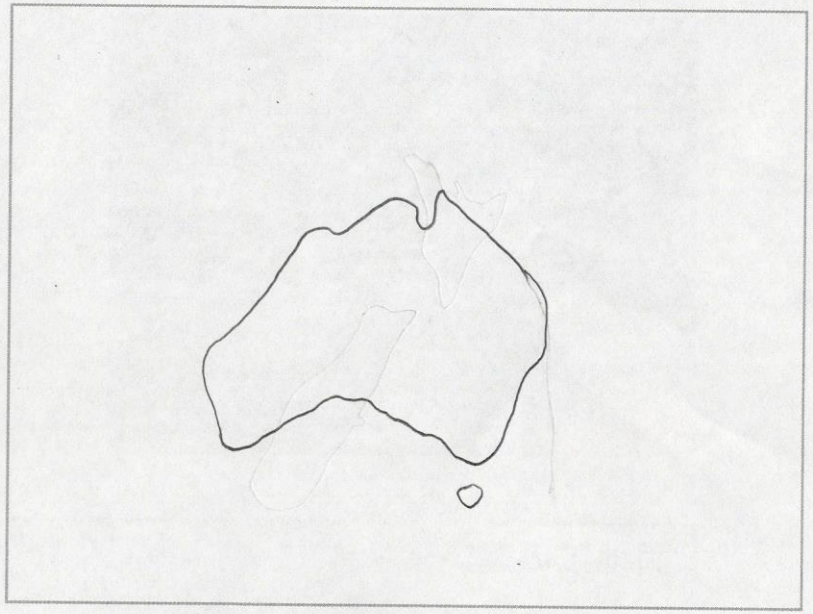
アメリカ…東西に広く居住可能地域があるので競走意識が生まれやすい。

東南アジア…居住地域が狭く南北に広がっているので、協力意識が生まれる。

多様性ゆたかな東南アジア

TITLE: 東南アジア vs オーストラリア



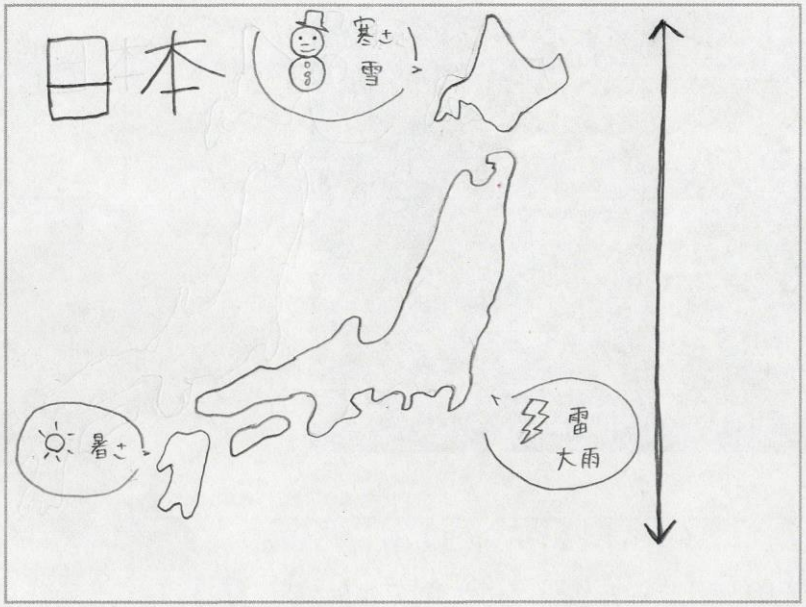


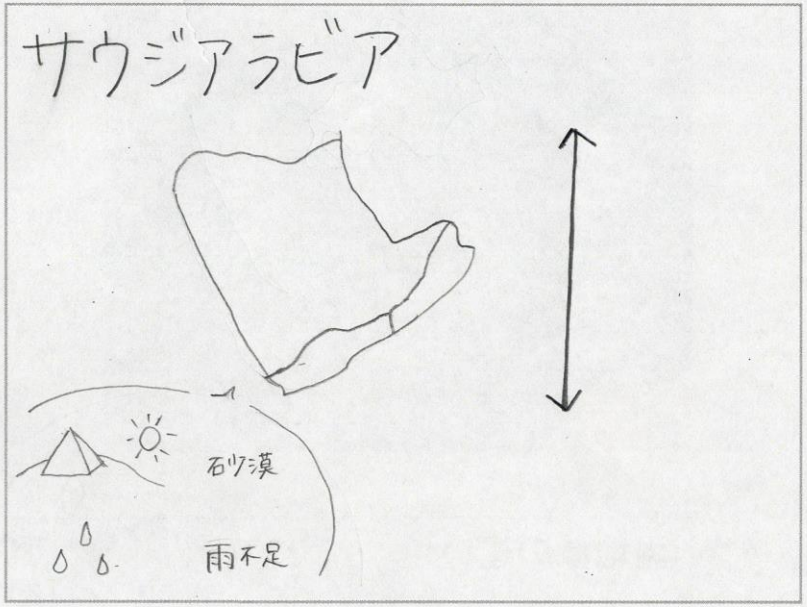
説明しよう！

	東南アジア	オーストラリア
言語	多様性あり	ほとんど英語だけ
文化	色々ある	多様性なし
理由	東南アジアはヨーロッパみたいに海岸線は複雑で、半島や島が多いため発達した文明も多様である。一方、オーストラリアは島一つだけで、ある意味中国にちかい。なので、文化の多様性もあまりない。	

悩みの数だけ神様がおわします

TITLE: 8,000,000人と1人





説明しよう！

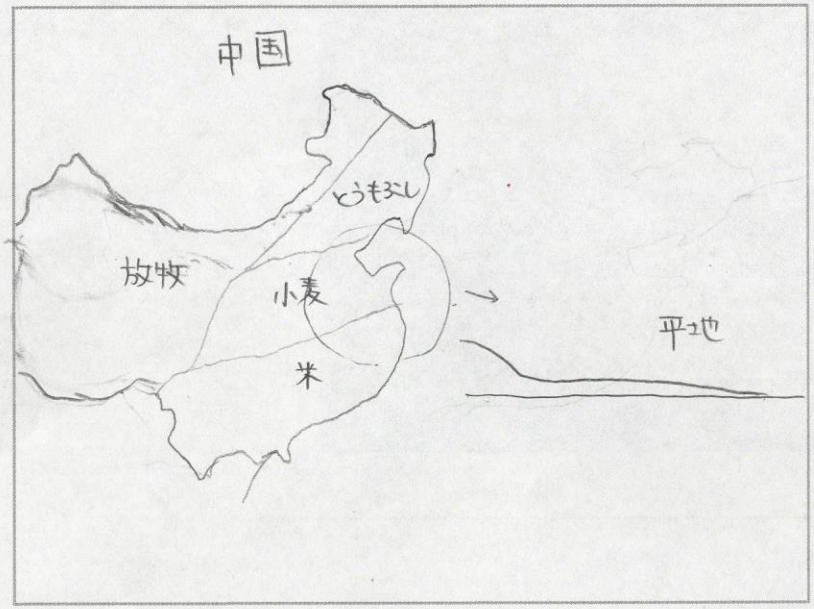
日本：縦長な地形で様々な天候・四季があり、河川氾濫など、色々な現象が起こりうる。
その度に山の神、川の神、など神を作り、八百万もの神が生まれた。

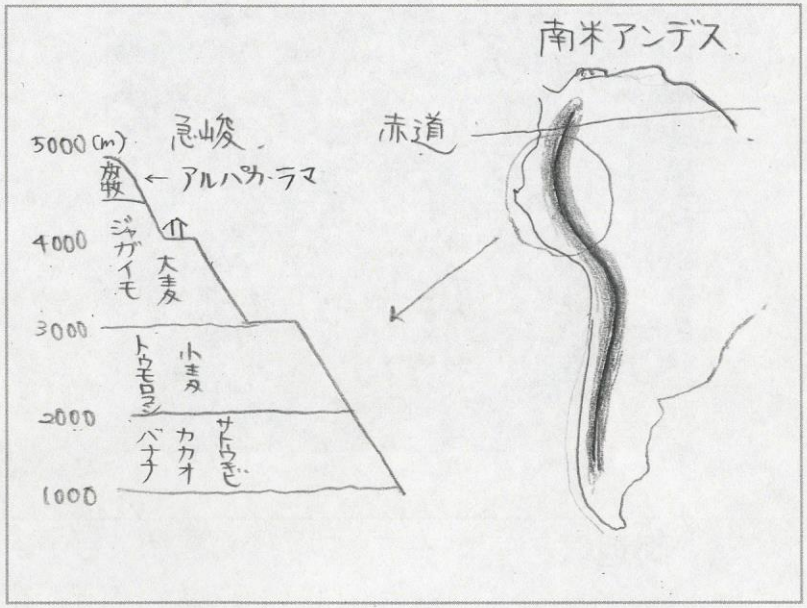
サウジアラビア：砂漠で、天候はいつも同じ。人々はもっぱら雨をのぞみ、神は一人である。

以下、山室的ベスト３です。
どれも発想力･完成度
ともに優れているので、
順位は付けません。

険しい山のおかげで、
いろんなものが食べられる

TITLE: 地形の高度差と作物の種類数





説明しよう！

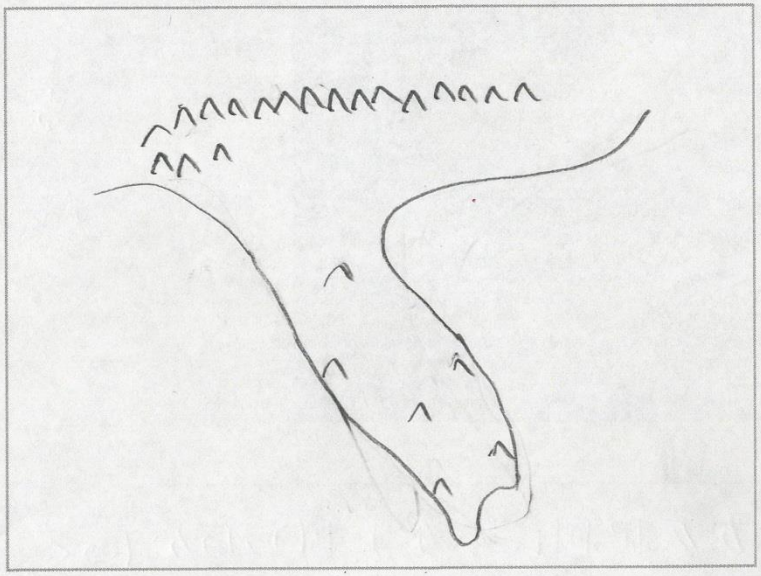
中国東部は平らな地形で同一な気候が広範囲にわたるため、
単一作物が広く栽培されてきた。
一方で、アンデス周辺は赤道直下であるためそもそも都市が高地に発展し、
標高に応じて気候が変わるためせまい範囲で多くの作物が栽培されてきた。

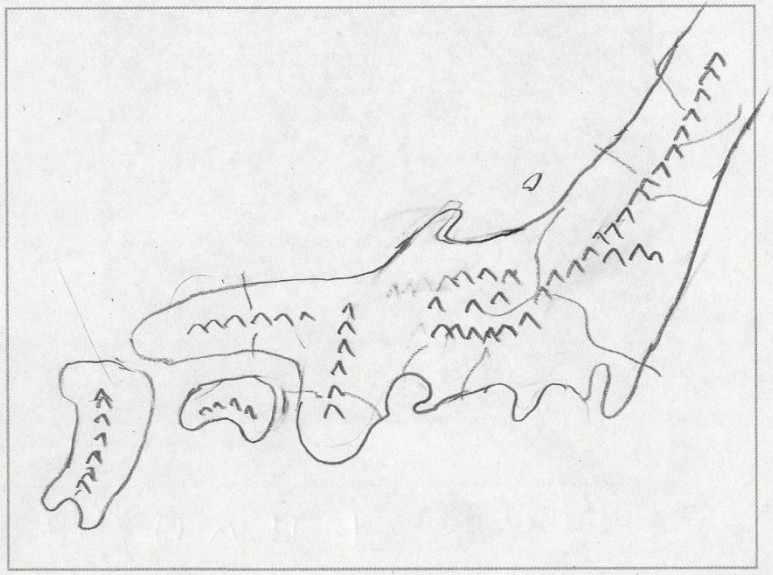
2つの自然環境において、1つの作物が栽培される面積に大きな差があり
特定の地域で栽培される主な作物の種類数が異なっている

ひとつの地図に統合して表現してもOK。

山の配置が水の供給を決める

TITLE: イタリア vs 日本

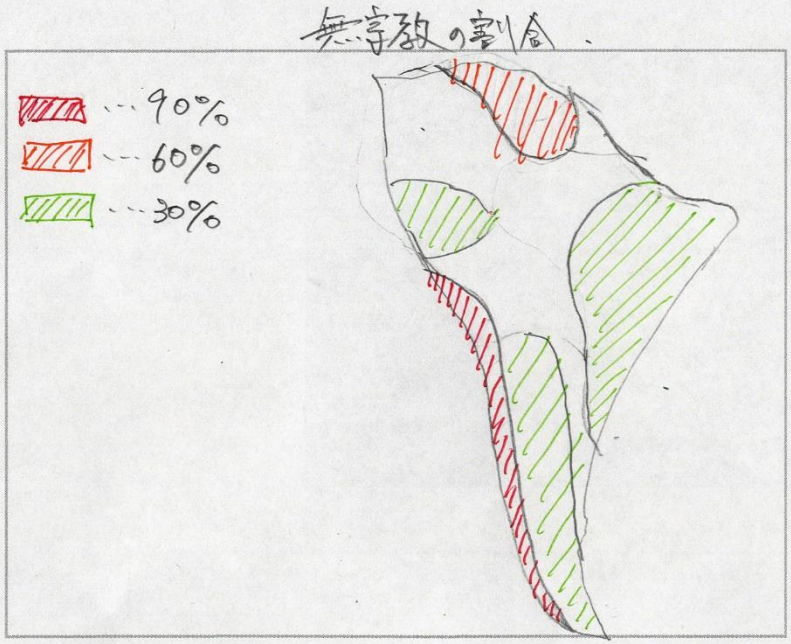


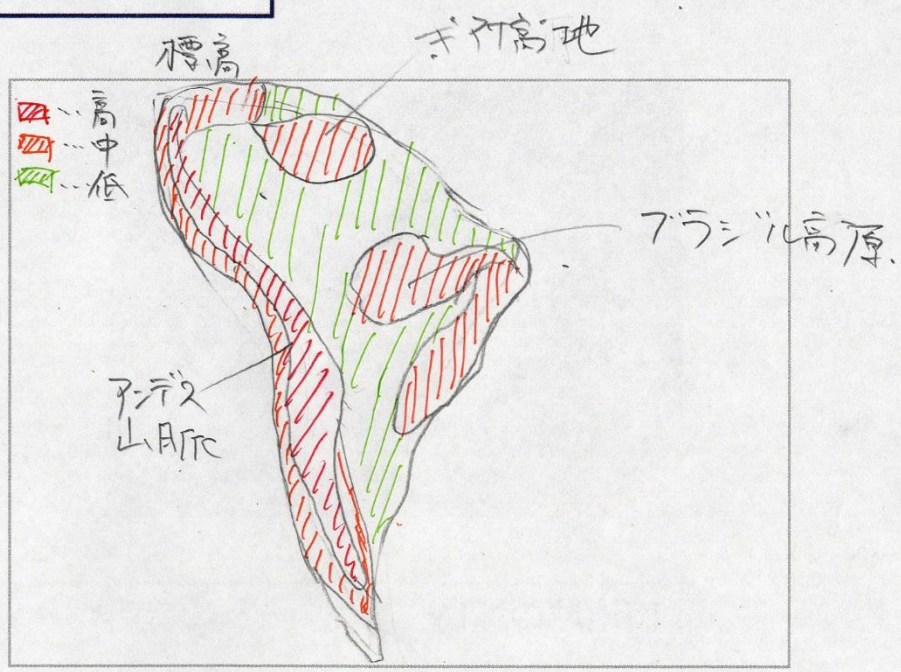


説明しよう！ 同緯度であるイタリアと日本。また細長い国、火山も多く、地震も多い国同士であるにも関わらずイタリアでは南北問題をかかえている。農業においてイタリアの南部では晴れが多く、水が足りない。一方日本は山脈が中央をなでるように通っているため川が多く、各地に水を供給できる。イタリアの南部には山が多く水の供給源はアルプス山脈に続き北部は発展しやすく、南部は発展しづらい。

高い山には神宿る

TITLE: 南アメリカの標高と無宗教の割合





説明しよう！

高い山がある地域では、その山自体が信仰の対象となり、その他の地域に比べキリスト教・イスラム教・仏教などの主要な宗教を信仰しない傾向がある。